

令和6年度 中期経営計画 評価シート

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会

◆中期経営計画 令和6年度評価シート

取組み内容	実施項目	担当部署
将来ビジョンの明確化	使命・経営理念・組織運営方針の周知	総務係
	中期経営計画の策定及び進行管理	総務係
会員の拡充	会員の拡充	総務係
理事会等の運営	理事会の運営	総務係
リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化	リスク管理体制の強化	総務係
	職員参集マニュアルの見直し	全ての係
	事業継続計画（BCP）の策定	全ての係
	各団体との委託契約、覚書等の締結	総務係 地域福祉係
働きやすい職場環境の整備	業務量等の検討、改善	総務係
	有給休暇等の取得促進	総務係
	ICTの環境整備、活用	総務係
広報活動の強化	広報活動の強化	全ての係
相談支援体制の充実	相談支援体制の充実	全ての係
専門職の育成と職員のスキルアップ	目標管理に基づいた人材育成	全ての係
	資格取得の促進	総務係
人材確保に向けた取り組み	定年の引き上げや再雇用等の検討	総務係
	効果的な職員採用	総務係 福祉サービス事業係
	表彰等の実施	総務係
福祉サービス事業所の体制強化	職員の資質向上	福祉サービス事業係
	第三者評価等の受審	福祉サービス事業係
	事業継続計画（BCP）の策定（再掲）	福祉サービス事業係
	他事業所等との連携	福祉サービス事業係
財政基盤の強化	会員の拡充（再掲）	総務係
	共同募金の周知	地域福祉係
	福祉サービス事業の検証・見直し	総務係 福祉サービス事業係
	公的財源の確保	総務係
	中期経営計画の策定及び進行管理（再掲）	総務係
	効果的な資産運用	総務係
	コスト意識の醸成	総務係

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	将来ビジョンの明確化	担当部署	総務係												
実施項目	使命・経営理念・組織運営方針の周知	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	使命・経営理念を全ての役職員が理解し、業務に取り組むことができます。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>周知</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	周知				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	周知														

事業概要

◆事業の評価・課題

本会の使命・経営理念・組織運営方針について、総合保健福祉センター及び社会福祉センター内に掲示するとともに、ホームページなどで周知を図っています。また、中堅職員が中心となり、職員同士の相互理解を深め、切磋琢磨できる関係づくりとコミュニケーションの円滑化を図ることを目的とし、係を超えた職員ミーティングを月1回実施しています。しかし、本会の使命や経営理念を全職員に浸透しているとは言えない現状であるため、職員研修等を通じて、本会の役割を理解して業務に取り組める環境づくりが必要であると考えます。

◆改善の方向性

引き続き、法人全体での周知に努めるとともに、職員面談やミーティングなどを通じて、使命・経営理念・組織運営方針が全職員に浸透するよう取り組むとともに、全社協が令和6年度に策定した「社会福祉協議会基本要項2025」において明示されている社協の役割を役職員共に理解を深め、業務に反映できるよう、研修会等の開催を検討します。

計画体系

取組み内容	将来ビジョンの明確化	担当部署	総務係												
実施項目	中期経営計画の策定及び進行管理	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	使命・経営理念を全ての役職員が理解し、業務に取り組むことができます。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>策定</td><td>進行管理</td><td colspan="3"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	策定	進行管理			
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	策定	進行管理													

事業概要

◆事業の評価・課題

令和6年度中期経営計画評価シートを作成し、PDCAサイクルに基づき事業の評価・改善の方向性について進行管理を行いました。理事会において評価するとともに、本会ホームページにて公表しました。

◆改善の方向性

引き続き、計画の進行管理については、PDCAサイクルに基づき行うものとし、単年度ごとの進捗状況については、評価シートを作成のうえ、理事会において評価します。また計画の進捗状況についても、本会ホームページ等で公表します。令和6年度が計画期間の中間年度にあたることから、「5年後のあるべき姿」に向け残りの計画期間に取り組むべきことを見直し、職員が意識を持って業務に取り組み、残りの計画期間で実現できるよう進行管理を行っていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	会員の拡充	担当部署	総務係												
実施項目	会員の拡充	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	地域住民はもとより、多くの団体等が会員となり、地域福祉活動に参画しています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>PR</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	PR				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	PR														

事業概要

◆事業の評価・課題

毎年7月に市民に対し社会福祉活動に参加いただく一環として、会員制度を実施しています。地域福祉活動の財源として、普通会员は会費300円(一口)、特別会員は3,000円(一口)を募集しています。令和6年度は普通会员10,561口、特別会員6口で、計3,426,235円(昨年度比: +16,075円)でした。特別会員について昨年度より2件増加しました。会員に加入していただくことにより、亀山市の地域福祉の推進に参画しているという目的をより明確に、広く周知し、貴重な財源の確保及び賛同者の増加に努めることが重要です。

◆改善の方向性

会員の拡充に賛同いただくため、引き続き自治会への協力依頼やチラシの全戸配布を行うとともに、福祉委員会や亀山市社会福祉法人連絡会などでの会員の趣旨や会費の使途の説明を行っています。また、職員ミーティング等において会員の拡充を図る方法について検討します。

計画体系

取組み内容	理事会等の運営				担当部署	総務係
実施項目	理事会の運営				記入者	総務係長
						服部 志穂
5年後のあるべき姿	理事会が法人の進むべき方向性を示し、経営主体としての機能を果たしています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	研修会等の実施				

事業概要

◆事業の評価・課題

令和6年度は理事会を5回開催し、事業計画・予算、事業報告、決算をはじめ、諸規程の整備などの協議を行いました。また、県社協が主催するZoomによる市町村協役員セミナーが開催され、本会の理事5名が参加し、社会福祉協議会の役割について理解を深める機会を持ちました。

今後の法人経営においては、これまで以上に理事会での活発な議論、意見交換が求められており、役職員が一丸となって社協の存在意義を高められるような意識を持ち、取り組んでいきたいと考えます。

◆改善の方向性

今後も、重要な案件や経営状況についての協議を行うとともに、役員等に内部研修、外部研修などの機会を積極的に提供していきます。また、理事会においては、積極的な意見交換などが行われるよう働きかけを行っていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化	担当部署	総務係												
実施項目	リスク管理体制等の強化	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>体制整備 研修会等の実施</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	体制整備 研修会等の実施				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	体制整備 研修会等の実施														

事業概要

◆事業の評価・課題

リスク管理・コンプライアンスに対する管理体制の強化として、管理職員、係長職員を対象に職場のメンタルヘルス対策の一環である管理監督者向けのラインケア研修を実施し、部下のメンタル不調への気づきや対応について理解を深めました。併せて、法人内の備品管理について、管理方法が明確化できていなかったため、衛生委員会の場を活用し、協議を引き続き行いました。また、令和5年度に金銭や重要書類、個人情報等の取扱いにおけるリスク管理やコンプライアンスについての職員研修を行いましたが、その後各係における課題の洗い出しを行うことができませんでした。

◆改善の方向性

令和7年度は金銭や重要書類、個人情報等の取扱いについて、各係における課題の洗い出しを実施し、職員のリスク管理への意識を高めるとともに、実用化を図ることができるよう方法等について検討します。
また、内部研修の実施や外部研修等を活用し、地域住民の皆様に信頼していただける体制づくりを進めます。
備品管理方法については、引き続き衛生委員会等の場を活用し、システム等の導入を行い体制整備を行っていきます。

計画体系

取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化	担当部署	全ての係												
実施項目	職員参集マニュアルの見直し	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>全ての係</td><td>見直し</td><td>実施</td><td colspan="3"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	全ての係	見直し	実施			
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
全ての係	見直し	実施													

事業概要

◆事業の評価・課題

係長以上の職員間において、LINEグループを活用した「亀山社協災害対策時等連絡用」を作成し、警報発令時や災害時等に情報を共有して行動がとれるよう、連絡体制を整えました。
令和5年度に事業継続計画(BCP)を策定しましたが、具体的な訓練などを行うことができませんでした。

◆改善の方向性

引き続き、災害の危険性が伴う場合には早急に情報共有が図れるようLINEグループなどを活用し、体制を整えていきます。
また、事業継続計画(BCP)を意識した研修・訓練を実施し、災害時に備えるための体制づくりに努めます。
事業継続計画(BCP)については、必要に応じて見直しを図ります。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化			担当部署	全ての係	
実施項目	事業継続計画(BCP)の策定			記入者	総務係長	
					服部 志穂	
5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	全ての係	策定	実施			

事業概要

◆事業の評価・課題

係長以上の職員間において、LINEグループを活用した「亀山社協災害対策時等連絡用」を作成し、警報発令時や災害時等に情報を共有して行動がとれるよう、連絡体制を整えました。
令和5年度に事業継続計画(BCP)を策定しましたが、具体的な訓練などを行うことができませんでした。

◆改善の方向性

引き続き、災害の危険性が伴う場合には早急に情報共有が図れるようLINEグループなどを活用し、体制を整えていきます。
また、事業継続計画(BCP)を意識した研修・訓練を実施し、災害時に備えるための体制づくりに努めます。
事業継続計画(BCP)については、必要に応じて見直しを図ります。

計画体系

取組み内容	リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化	担当部署	総務係、地域福祉係															
実施項目	各団体との委託契約、覚書等の締結	記入者	総務係長															
			服部 志穂															
5年後のあるべき姿	職員がリスク管理やコンプライアンスに対する意識が高くなり、緊急時の体制が整備されています。																	
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係 地域福祉係</td><td>見直し</td><td>実施</td><td colspan="3"></td></tr></table>						部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係 地域福祉係	見直し	実施			
	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度												
総務係 地域福祉係	見直し	実施																

事業概要

◆事業の評価・課題

民生委員児童委員協議会連合会、日本赤十字社三重県支部亀山市地区をはじめ、各福祉団体の事務局業務を担っています。通帳を預かり、出納業務を行っていることから、毎月会計責任者(事務局長)による残高確認等のチェックを行うとともに、年度末には残高証明書を取得し、より適正な事務局業務に努めました。しかし、各福祉団体との委託契約書や覚書による業務の明確化が図られていません。

◆改善の方向性

業務の明確化を図るため、委託契約書や覚書等の締結について各福祉団体と協議を行います。また、全社協が令和7年4月に改訂した「出納業務に関するチェックポイント」を活用し、適正な事務局業務を行います。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	働きやすい職場環境の整備	担当部署	総務係												
実施項目	業務量等の検討、改善	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>検討・改善</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	検討・改善				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	検討・改善														

事業概要

◆事業の評価・課題

時間外勤務について、令和6年度は2,148時間(昨年度比: +196時間)でした。職員の退職等により適正な職員配置ができなかったことが要因です。一部の職員に業務負担が偏るなど、職員によって時間外勤務に差があるのが現状ですが、時間外申請の方法の周知やノー残業デーの設定、過重労働防止に取り組むためのチラシの掲示を行い、適正な労働時間の管理に取り組みました。
令和4年度実績:2,380時間 令和5年度実績:1,952時間

◆改善の方向性

令和7年度付けで正規職員2名、嘱託職員1名、非常勤職員2名が入職し、職員配置を行うことができたため、一部の職員に業務量が集中しないよう、係間で事務分担を検討するとともに、各係の所管事務の見直しなども含め総合的に検討していきます。
また引き続き、過重労働防止に取り組むため、管理職による労働時間の管理を徹底します。

計画体系

取組み内容	働きやすい職場環境の整備	担当部署	総務係												
実施項目	有給休暇等の取得促進	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。														
期 間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>啓発</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	啓発				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	啓発														

事業概要

◆事業の評価・課題

令和6年度は、全職員の有給休暇の取得率が81.1%(昨年度比:▲4.5%)でした。
令和4年度実績:78.8% 令和5年度実績:85.6%
高い取得率を保っていますが、職員により取得日数に偏りがあるのが現状です。
また仕事と育児の両立や柔軟な働き方を実現できるよう育児・介護休業規程を改正し、育児短時間勤務の対象年齢の拡大を図りました。

◆改善の方向性

より多くの職員が自身の健康維持に関心を持ち、ワークライフバランスの充実を図ることができるよう、引き続き、有給休暇等を取得しやすい環境づくりを心がけるとともに、衛生委員会やミーティングの場を活用した情報提供・情報共有を行い、職員が安心して働くことができる職場づくりに努めます。
また、有給取得状況については定期的に係ごとで把握し、取得促進に努めます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	働きやすい職場環境の整備				担当部署	総務係
実施項目	ICTの環境整備、活用				記入者	総務係長
						服部 志穂
5年後のあるべき姿	業務の効率化を図り、職員がやりがいを持って働ける職場環境になっています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	啓発 整備・活用				

事業概要

◆事業の評価・課題

相談者の情報共有や支援内容を円滑にできるように、地域福祉係と地域包括ケア推進係の相談システムを統一しました。法人運営部門においては、定款や諸規程、要綱等や単年度の予算、決算、事業計画、事業報告を全職員が閲覧できるようシステムに一括して登録し、ペーパーレス化、ICT化に取り組みました。

◆改善の方向性

今後も業務の効率化を図るため、Web会議・研修をはじめ、他のシステムの活用も検討するなど可能な範囲で積極的にICTの活用を図っていきます。また、職員が主体的に業務効率化を意識し、業務に取り組める意識を持つことができるよう働きかけをおこなっていきます。

計画体系

取組み内容	広報活動の強化				担当部署	全ての係
実施項目	広報活動の強化				記入者	地域福祉係長
						小林 英里奈
5年後のあるべき姿	分かりやすい情報提供が行われ、多くの市民、団体等に社協の活動が理解されています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	全ての係	検討強化				

事業概要

◆事業の評価・課題

社協だより発行月の前月に内部で編集委員会を開催し、検討を行っています。また活動情報などをすぐに発信できるようホームページ、Facebook(更新回数:139回(昨年比:△23回))を活用し、情報発信に努めています。月1回鈴鹿VoiceFMにて「ラジオかめやま社協だより」に、テーマを決めて正規職員がローテーションで出演し、テーマに合わせたゲスト出演なども工夫して行うなど、社協の活動をどう発信したら良いか考える機会となっています。法人のPR動画の作成を計画していましたが、視察や職員への聞き取りなどを行った結果、より効率的な内容にするためには再度協議をしていく必要があり、作成には至りませんでした。

◆改善の方向性

引き続き、社協だよりやラジオ、Facebook、あいあい内に設置している掲示板などを活用し、多くの市民や団体が本会の情報を受け取れるよう努めていきます。特に、どうしたら興味を持ってもらえるかという点を重視し、企画を検討していきます。今後、ホームページの内容やInstagramの活用を、中堅職員と若手職員でそれぞれ構成する社協ミーティングで検討し、目的を明確にして、発信していくものを何にするのか、ルールを決めて発信しやすい環境を整えていきます。PR動画については、職員が社協のどんな魅力を伝えたいのか、やりがいを感じながら取り組める雰囲気づくりをしながら、話し合いを重ねていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	相談支援体制の充実	担当部署	全ての係												
実施項目	相談支援体制の充実	記入者	生活支援係長 小林 香奈												
5年後のあるべき姿	法人内で分野を超えた相談支援、情報共有の体制が確立されています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>全ての係</td><td>検討 体制整備</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	全ての係	検討 体制整備				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
全ての係	検討 体制整備														

事業概要

◆事業の評価・課題

令和4年度から係を越えて支援が必要な個別案件の情報共有を行うため、相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングを毎月開催してきました。開始から2年半が経過し、個別ケースの共有については必要に応じてできる体制が整ってきたため、形を変えて中堅職員が中心となり職員相互の理解を深め、コミュニケーションの円滑化を図ることを目的に月1回開催しています。また、重層的支援体制整備事業をはじめ、各係が使用している相談支援システムを統一することで、情報も連携も図りやすくなってきています。

◆改善の方向性

今後も月1回の職員ミーティングを開催し、相談支援体制がより充実できるよう、ミーティングのあり方や内容等について意見を出し合うとともに、システムの活用方法や情報共有の円滑化に努めていきます。

計画体系

取組み内容	専門職の育成と職員のスキルアップ	担当部署	全ての係												
実施項目	目標管理に基づいた人材育成	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	職員一人ひとりのスキルアップが図られ、目指すべき職員像に近づいています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>全ての係</td><td>実施</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	全ての係	実施				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
全ての係	実施														

事業概要

◆事業の評価・課題

人材育成計画・研修計画に基づき、各係の目標を設定し、職員面談を行いながら、各職員が係の目標に到達できるよう取り組むべき行動目標を示しています。各職員が個人目標を設定することで、単年度における業務に対する目標について、係員と係長が共有できるようになってきています。また、階層別研修及び専門研修を積極的に実施、受講することで、各職員が必要な階層の研修を受講できています。

◆改善の方向性

人材育成計画・研修計画を策定したことで計画的に人材育成に取り組む体制が図られています。しかし、本会の使命・経営理念・組織運営方針については理解度に個人差があることから、面談や職員研修、ミーティング等を通して、理解を深めることができるよう努めます。また、中堅職員及び若手職員において、それぞれが主体的に取り組むを進められる場を設け、個人のスキルアップとチーム力の向上に努めます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	専門職の育成と職員のスキルアップ				担当部署	総務係
実施項目	資格取得の促進				記入者	総務係長
						服部 志穂
5年後のあるべき姿	職員一人ひとりのスキルアップが図られ、目指すべき職員像に近づいています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	検討	実施			

事業概要

◆事業の評価・課題

本会の正規及び嘱託職員のうち、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの国家資格取得者は77%(前年比:+3%)です。

本会でやっている相談支援業務は、複合的な課題を抱える事案も多く、より専門的な知識と対応力が求められており、地域住民の方々に安心して相談にしてもらえる体制づくりが必要です。職員には資格取得をすることで自身のスキルアップ、本会のチーム力の向上につながることを認識してもらえるよう働きかけを行う必要があります。

◆改善の方向性

すべての職員が、積極的に意欲的に取り組めるような職場風土や体制づくり、スキルアップや資格取得の支援を行います。福祉の資格取得だけでなく各係の業務に応じた資格取得や研修の機会の提供など職員一人ひとりのスキルアップが図れる職場づくりに努めます。

計画体系

取組み内容	人材確保に向けた取り組み	担当部署	総務係												
実施項目	定年の引き上げや再雇用等の検討	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>検討</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	検討				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	検討														

事業概要

◆事業の評価・課題

正規職員については当面の間、定年(60歳)を迎える職員がいないことから、定年の引き上げ等についての協議は行っていません。今後の状況をみながら、法人内で協議、検討していく必要があります。

◆改善の方向性

引き続き、経験ある職員を長期に雇用することで安定的な人材確保につなげられるよう、行政や他市町社協等の取り組みを参考にしながら定年の引き上げや再雇用の仕組みを検討し、人材確保に努めていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	人材確保に向けた取り組み	担当部署	総務係、福祉s事業係												
実施項目	効果的な職員採用	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後の あるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。														
期 間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係 福祉s事業係</td><td>検討・調整</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係 福祉s事業係	検討・調整				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係 福祉s事業係	検討・調整														

事業概要

◆事業の評価・課題

令和6年度は正規職員の採用募集を行うにあたり、ハローワークや広報誌のほか、県社協が主催する福祉の就職フェアへの参加をしました。その結果、4名の募集があり、うち2名を採用することができました。また、福祉サービス事業係における嘱託1名の採用にもつながりました。法人のPRを行うための動画作成については予算計上しましたが、若者への福祉の就職支援を行っている団体への聞き取りや職員への聞き取りをおこなった結果、より効果的な内容にするために熟慮する必要があると考えたため、動画の作成には至りませんでしたが、社会福祉法人連絡会における亀山市の福祉の魅力発信力向上研修の開催を行うことができました。

◆改善の方向性

令和6年度は、正規職員、嘱託職員ともに募集枠の定員を満たす採用を行うことができましたが、以前と比較すると応募者の減少や職員の価値観等の変化による定着率の低下が見られるため、より魅力的な職場づくりが求められています。ミーティング等において、職員の声を反映した法人の魅力をPRする方法を検討し、働き続けたい、働きたいと思われる職場づくりに取り組みます。

計画体系

取組み内容	人材確保に向けた取り組み				担当部署	総務係												
実施項目	表彰等の実施				記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後の あるべき姿	職員が長期に雇用され、安定的に人材が確保されています。																	
期 間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>検討・実施</td><td colspan="4"></td></tr></table>						部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	検討・実施				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度													
総務係	検討・実施																	

事業概要

◆事業の評価・課題

福利厚生を取り組みとして、福利厚生センター(ソウェルクラブ)への加入及び職員親睦会の運営をしています。
現在は長期勤務者等へ表彰などは実施していません。

◆改善の方向性

職員に対する表彰(長期勤務者等)などの実施を検討し、モチベーションの向上に努めます。
また、職員同士の親睦を図り、コミュニケーションを深められる場を設け、長期にわたり勤めることに安心感を持つことが出来る職場づくりに努めます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化	担当部署	福祉s事業係
実施項目	職員の資質向上	記入者	福祉s事業係長

計画体系

取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
実施項目	第三者評価等の受審				記入者	福祉s事業係長 歟田 聡
5年後の あるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
期 間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	福祉s事業係	検討・実施				

事業概要

◆事業の評価・課題

県が実施する第三者評価の受審までには至っていませんが、令和6年度は、報酬改定に伴い、契約書や重要事項説明書等の書式を見直しを行うとともに、文書管理について係内で簿冊管理を統一し、業務がスムーズにできるように整備しました。また、虐待防止委員会、感染症対策委員会を設置し、協議・検討を重ねました。

◆改善の方向性

引き続き、職員間のミーティング等を通して課題を抽出し、PDCAサイクルに基づき定期的に改善できる体制を整えていきます。また、第三者評価の受審や法人内での内部監査についても引き続き検討していきます

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化				担当部署	福祉s事業係
実施項目	事業継続計画(BCP)の策定【再掲】				記入者	福祉s事業係長
						鋏田 聡
5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	全ての係	策定	実施			

事業概要

◆事業の評価・課題

係長以上の職員間において、LINEグループを活用した「亀山社協災害対策時等連絡用」を作成し、警報発令時や災害時等に情報を共有して行動がとれるよう、連絡体制を整えました。
令和5年度に事業継続計画(BCP)を策定しましたが、具体的な訓練などを行うことができませんでした。

◆改善の方向性

引き続き、災害の危険性が伴う場合には早急に情報共有が図れるようLINEグループなどを活用し、体制を整えていきます。
また、事業継続計画(BCP)を意識した研修・訓練を実施し、災害時に備えるための体制づくりに努めます。
事業継続計画(BCP)については、必要に応じて見直しを図ります。

計画体系

取組み内容	福祉サービス事業所の体制強化					担当部署	福祉s事業係
実施項目	他事業所等との連携					記入者	福祉s事業係長
							歟田 聡
5年後のあるべき姿	サービスの向上が図られ、利用者及び関係機関に信頼される事業所運営ができています。						
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	福祉s事業係	実施					

事業概要

◆事業の評価・課題

計画相談支援事業所において、令和6年度より担当職員の交代がありましたが、他の関係機関との連携を図ったことから、利用者増につながりました。一方、訪問介護・居宅介護事業所においては、常勤職員の退職等に伴い、サービス提供責任者の変更があり、利用者の減及び新規利用者の受入ができませんでした。

◆改善の方向性

引き続き、他事業所や関係機関と連携を図れるよう、連絡会等に参加し、利用者支援だけでなく、事業所の運営についても情報交換や連携が図れるよう努めていきます。また、他事業所の運営状況も見ながら、利用者確保に努めていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係												
実施項目	会員の拡充【再掲】	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>PR</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	PR				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	PR														

事業概要

◆事業の評価・課題

毎年7月に市民に対し社会福祉活動に参加いただく一環として、会員制度を実施しています。地域福祉活動の財源として、普通会员は会費300円(一口)、特別会員は3,000円(一口)を募集しています。令和6年度は普通会员10,561口、特別会員6口で、計3,426,235円(昨年度比: +16,075円)でした。特別会員について昨年度より2件増加しました。会員に加入していただくことにより、亀山市の地域福祉の推進に参画しているという目的をより明確に、広く周知し、貴重な財源の確保及び賛同者の増加に努めることが重要です。

◆改善の方向性

会員の拡充に賛同いただくため、引き続き自治会への協力依頼やチラシの全戸配布を行うとともに、福祉委員会や亀山市社会福祉法人連絡会などでの会員の趣旨や会費の使途の説明を行っています。また、職員ミーティング等において会員の拡充を図る方法について検討します。

計画体系

取組み内容		財政基盤の強化			担当部署	地域福祉係	
実施項目		共同募金の周知			記入者	地域福祉係長	
5年後のあるべき姿		利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
期	間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		地域福祉係	PR				

事業概要

◆事業の評価・課題

共同募金は地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして全国的に展開されています。本会も毎年交付を受けており、令和6年度は福祉教育推進助成事業、福祉団体への二次配分事業、福祉遊具貸出事業、緊急食糧等提供事業、低所得世帯等への見舞金などに充当しています。しかし、配分事業の評価、見直しが十分にできていないことが課題となっています。また、令和6年度は本会でも共同募金配分団体の特集を社協だよりで掲載し、共同募金の周知に努めました。

◆改善の方向性

社会福祉法人三重県共同募金会、亀山市共同募金委員会と協議、連携しながら、共同募金が地域に根付いていくよう地域住民、関係団体、企業などに対し、積極的に働きかけていくとともに、市民等から十分理解が得られるような事業を実施していきます

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係、福祉s事業係			
実施項目	福祉サービス事業の検証、見直し	記入者	福祉s事業係長 鋤田 聡			
5年後の あるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
期 間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係 福祉s事業係	検証 見直し				

事業概要

◆事業の評価・課題

福祉サービス事業所の収支状況について令和6年度は、訪問介護事業所で実質約330万円のマイナス収支差額、障害福祉サービス事業所で実質約770万円のプラス収支差額であり、福祉サービス事業についてはプラス収支差額となりました。障害福祉サービス事業所については、生活介護事業（つくしの家）及び計画相談支援事業所の利用者の増によるものです。一方、訪問介護事業所は常勤職員の退職等に伴い、利用者の減及び新規利用者の受入ができなかったことから、介護保険事業収入等が大幅に減少しました。今後の事業継続に向けて安定的な運営が行えるよう協議・検討を行う必要があります。

◆改善の方向性

引き続き、三役会等で福祉サービス事業について経営状況の分析を行い、協議・検討を重ねながら今後も安定した事業運営を行っていきます

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係												
実施項目	公的財源の確保	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後の あるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。														
期 間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>事業評価 財源確保</td><td colspan="4"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	事業評価 財源確保				
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	事業評価 財源確保														

事業概要

◆事業の評価・課題

亀山市、鈴鹿亀山地区広域連合、三重県社会福祉協議会等からの補助金、委託金については、収入全体の約70%(令和6年度決算)を占めており、重要な財源となっています。特に亀山市からの補助金、委託金については、現状理解を得られており、財源だけでなく事業の連携からみても良好な関係が築けていますが、市の財政状況も厳しいことから、福祉サービス事業においてしっかりと収益をあげていくなど、自主財源の確保に努めていく必要があります。

◆改善の方向性

引き続き、安定的な財源の確保に向けて、適正かつ公正な支出管理を行うとともに、事業評価を行い、行政等から信頼を得られるよう、また本会の存在意義を高め、必要性が認められるよう事業推進に努めていきます。一方では、公的財源だけに頼るのではなく、福祉サービス事業収益など自主財源の確保に努めていきます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係												
実施項目	中期経営計画の策定及び進行管理【再掲】	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。														
期 間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>策定</td><td>進行管理</td><td colspan="3"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	策定	進行管理			
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	策定	進行管理													

事業概要

◆事業の評価・課題
令和6年度中期経営計画評価シートを作成し、PDCAサイクルに基づき事業の評価・改善の方向性について進行管理を行いました。理事会において評価するとともに、本会ホームページにて公表しました。
◆改善の方向性
引き続き、計画の進行管理については、PDCAサイクルに基づき行うものとし、単年度ごとの進捗状況については、評価シートを作成のうえ、理事会において評価します。また計画の進捗状況についても、本会ホームページ等で公表します。令和6年度が計画期間の中間年度にあたることから、「5年後のあるべき姿」に向け残りの計画期間に取り組むべきことを見直し、職員が意識を持って業務に取り組み、残りの計画期間で実現できるよう進行管理を行っていきます。

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係												
実施項目	効果的な資産運用	記入者	総務係長 服部 志穂												
5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。														
期間	<table><tr><td>部署</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td></tr><tr><td>総務係</td><td>規程整備</td><td>運用</td><td colspan="3"></td></tr></table>			部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	総務係	規程整備	運用			
部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
総務係	規程整備	運用													

事業概要

◆事業の評価・課題

本会では現在、福祉ボランティア基金、財政調整積立金、社会福祉センター修繕等積立金、退職給与積立金を所有しており、すべて定期預金で運用しています。しかし、定期預金の利率が低いため資産運用には至っていません。また、資産運用に関する規程の整備ができていないのが現状です。

◆改善の方向性

それぞれの基金、積立金の目的や使途について、現状分析を行うとともに規程等の整備に向けて検討を行います。また、社会福祉センター修繕等積立金及び退職積立金については、今後を見据え、計画的に積立を行なっていく必要があるため、財源の確保も念頭に置き、安心安全に運用できる体制の検討を進めます。

令和6年度 中期経営計画 評価シート

計画体系

取組み内容	財政基盤の強化	担当部署	総務係			
実施項目	コスト意識の醸成	記入者	総務係長			
			服部 志穂			
5年後のあるべき姿	利用者や地域の方々、行政及び関係機関等から信頼され、安定した法人経営が行われています。					
期間	部署	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	総務係	研修会等の実施				

事業概要

◆事業の評価・課題

民間団体として継続して安定的な経営が求められていますが、本会の財源は行政等からの補助金、委託金が収入の大部分を占めているため、経営に対する職員の意識は高くはありません。職員がコスト意識を持てるような取り組みとして、令和6年度は定款や諸規程、要綱等や単年度の予算、決算、事業計画、事業報告を全職員が閲覧できるようシステム化しペーパーレス化を図りました。備品管理については、まだ運用には至っていないことから早急に整備します。今後も法人内で様々な管理体制の整備を行い、職員のコスト意識を高める働きかけを行う必要があります。

◆改善の方向性

職員一人ひとりのコスト意識を高める取り組みとして、昨年度から協議している備品管理体制の整備を令和7年度から運用できるようにします。

また、法人経営や事業の安定的な運営について、職員の意識や関心を高めることができるようミーティング等を活用して会計の仕組みについての理解を深め、予算編成や決算業務に意欲的に取り組むことができるよう働きかけをおこなっていきます。